

骨髄バンク推進月間に寄せて

琉球大学大学院医学研究科

内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座(第二内科) 特命助教 北村 紗希子



厚生労働省は造血幹細胞移植に関する正しい知識の啓発及びドナーの確保を図るため、10月を骨髄バンク推進月間と定めています。造血幹細胞移植や骨髄バンクの重要性に関して医療従事者が果たすべき役割について改めて考え直す機会となればと思います。

造血幹細胞移植は難治性の血液がんや再生不良性貧血を含む造血不全の治癒を目指す切り札的治療法です。移植医療の目覚ましい進歩により、かつては不治の病であった急性白血病をはじめ血液悪性疾患の長期生存が十分に期待できる素晴らしい時代を迎えたとはいえ、造血幹細胞移植の成功は適合するドナーの存在に大きく依存しています。第一の適正条件であるヒト白血球抗原 (HLA: Human Leukocyte Antigen) が適合するドナーを見つけることは容易ではありません。兄弟姉妹であれば25%の確率で一致しますが、少子化の影響や移植適応年齢が拡大したものの兄弟姉妹が高齢である場合など、血縁ドナーを確保出来ないことも少なくありません。

骨髄バンクは造血幹細胞移植が必要な患者と提供するドナーをつなぐ公的事業であり、血縁ドナーを得られない患者にとって生命線と言える重要な資源です。非血縁者間ではHLAの適合率は数百～数万分の1と極めて低くなりますが骨髄バンクに登録された多くのドナー候補者の中から患者に適合するドナーを見つけ出すことが出来ます。日本では1992年に国内で初めて非血縁者間の骨髄移植が成功を収め、2023年までに骨髄バンクを介して累計約28,600件

の非血縁者間造血幹細胞移植が実施されています。しかし、2023年では約1,800人の新規患者登録に対し実際に造血幹細胞の提供が行われたのは約1,000例であり、移植医療を十分に供給するためには更なるドナー登録者の増加が必要です。

2023年3月末時点の骨髄バンクドナー登録者数は55万4,123人です。誇るべき点は、都道府県別の人口1,000人あたりのドナー登録者数が沖縄県は37.8人で全国平均の10.3人を圧倒的に上回り、全国1位となっていることです。沖縄県においてドナー登録者を増やすための地道な啓発活動が行われてきた成果だと思っています。

一方、骨髄バンクにおけるドナーの高齢化が重要課題として懸念されています。骨髄バンクドナーの登録条件として「年齢が18歳以上(提供は20歳から)、54歳以下で健康状態が良好なひと」が挙げられています。年齢の上昇に伴いドナー登録者自身が心血管系疾患などの慢性疾患を抱えていることが多くなり、造血幹細胞提供が安全に行えない場合があるため、ドナーとして不適格となる可能性が高くなります。ドナー登録が始まった1990年代に登録された多くの方々が現在50代に達し、若年層の登録者数の伸びが緩やかであるため、ドナーの平均年齢が上昇しているのが現状です。そして5年以内には満55歳を迎えドナーを引退となる登録者が約13万人と予測されています。

この課題を克服するためには若年層のドナー登録を促進することが重要です。教育機関などと連携し、骨髄バンクの意義やドナー登録の重

要性を広く伝える取り組みを実施することや SNS を活用した情報発信も効果的です。若い世代に対して、骨髄バンクにドナー登録することが社会貢献の一環であり、多くの命を救う可能性を理解してもらうことが重要です。

分子標的薬やキメラ抗原受容体遺伝子改変 T 細胞 (CAR-T 細胞) 治療により目覚ましい進歩を遂げている血液診療ですが、造血幹細胞移

植が今も重要な治療法の 1 つであることに変わりありません。骨髄バンク推進月間にあたり、医療従事者が造血幹細胞移植や骨髄バンクに関する知識を深め、地域社会に対して正しい情報を提供することが不可欠です。一人ひとりが役割を再認識し、患者さんのためにできることを実行することで骨髄バンクドナー登録者の増加や移植医療の発展に繋がり、より多くの命を救うことができると信じています。



お知らせ

沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課からのお知らせ

おきなわ医療通訳サポートセンターについて

沖縄県では、外国人観光客の医療問題に対応すべく、多言語コールセンター（名称：おきなわ医療通訳サポートセンター）を開設し、医療機関向け①電話・映像医療通訳②簡易翻訳サービス③インバウンド対応相談窓口をすべて無償で実施しております。

各医療機関におかれましては、是非、有効利用下さいますようご案内申し上げます。

【問い合わせ先】
「おきなわ医療通訳サポートセンター」
医療通訳サービス運営事務局
(受託事業者：株式会社 BRIDGE MULTILINGUAL SOLUTIONS)
☎ 0570-001-003

無料

24時間365日対応



① 電話・映像医療通訳サービス (18ヵ国語対応)

0570-050-232

② 簡易翻訳サービス (20ヵ国語対応)

okinawairyou-honyaku@bridge-ms.com

9時～17時・平日

③ インバウンド対応相談窓口

okinawairyou-soudan@bridge-ms.com
0570-050-233



←詳細はこちらからご覧ください

<https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoshinko/ukeire/iryoutuyakukorusentar.html>